

# 山茶花

～ サザンカ ～



Vol, 43

発行年月日 2015年3月20日  
発行責任者 (株) ミューみどりの丘  
山茶花編集委員会  
発行者住所 厚木市戸室3丁目16番20号  
連絡先 Tel:046-221-9600  
Fax:046-221-9601  
mail:care@midorinooka.com

## より良い『みどりの丘』を目指して

### 《みどりの丘改革プロジェクト》

代表取締役 社長 山崎 隆史



私どもも創設18年目を迎え、皆様方の日々のご努力で順調に業務を拡大することができました。

さて、2000年に介護保険法が制定されて以来15年が経ち4月にはその見直しも予定され、この業界は厳しい過当競争時代を迎えようとしております。

また、日本人の平均寿命も女性が86.61歳で世界一を誇り、男性の平均寿命も2013年に初めて80.21歳となり世界第4位となりました。日本はまさに世界一の長寿国としてこれから超高齢社会を迎えようとしています。

そんな中で、私たち「みどりの丘」は厚木という地域に根ざし、小さいながらも入居者の皆様とご家族の皆様にご満足いただける最高のサービスを提供しなくてはなりません。

そこで、私たちは、昨年10月から3年後、5年後を目標にした「みどりの丘改革プロジェクト」を発足し「みどりの丘中長期計画」を計画いたしました。このプロジェクトは2015年4月からスタートの予定です。

このプロジェクトは「みどりの丘」が今後ますます地域に根ざした素晴らしい組織となる事を目的としております。ご入居者・ご家族・職員、そして地域の皆様をはじめとする多世代にわたる方々が最高の満足を得られるプログラムを作り、理想的な環境の整備を目指します。プロジェクトに取り組むにあたり、組織変更の一環として新しい体制をご紹介します。株式会社ミュー（みどりの丘）の代表取締役社長は山崎隆史が引き続き務め、取締役施設長は山崎則子が継続いたします。

そして、昨年9月28日付けで、平野祐司が新たに取締役本部長（2015年4月1日より常勤取締役本部長となります）に就任いたしました。

また、2014年11月より執行部を設置し、村山昭夫・立石太郎・渡辺貴志・幸田裕介の4名を新たに部長職として任命し、総務・施設管理業務・経営企画などの諸事業に責任者として起用します。

みどりの丘改革プロジェクトはスタートしたばかりですが、ぜひ皆様のご協力で、より良いみどりの丘の実現を目指したいと思いますのでぜひご協力をお願いします。

### 《平成27年度の事業目標は「地域との共生」》

取締役 施設長 山崎 乃湊子



おかげさまで皆様の力をお借りしまして、みどりの丘は今年で満18年を迎えます。

今考えますと、あっという間の18年でありましたが、その間に高齢者介護を取り巻く環境は、様々に変容してきました。

この春迎える大きな介護保険の改定は、介護を受ける皆様、サービスを提供する私たちにとっても決してプラスにならない感じがいたします。これを受けて古くから共に地域で高齢者の介護を行ってきた施設の閉鎖や、終末の医療に一石を投じてきた某病院の閉院は、私たちにとっても大きな衝撃でもあります。同じ気持ちで地域のサービスを担ってきた仲間がどのような思いで終わりを決めたのか、胸が痛む思いとともにサービスを継続し続ける責任の重さを改めて感じる出来事です。

そのような状況の中、今後は高齢者と障がいを持つ方々のサービスを1本化していく方向も出ています。これはあくまでも「地域」というキーワードを基本に変わっていく方向です。

「様々な状況で生活に不便のある人たちは、地域という生活を共にする人たちの共有する問題と捉えていきましょう」という考え方です。その背景には、2000年に始まった介護保険の「自立した生活を維持する」ことを目的とした制度の理念が反映されているともいえますが、財政的な問題や予想以上のサービス受給の増加が深く関わっています。



「モン・レーヴ」オープニングイベント

みどりの丘では、今までも介護サービスを利用する方を「高齢が原因で生活の不便を抱えている方」という位置づけで、障がいサービスとの垣根を作らずに考え、介護保険と障がい者総合支援法のサービスを柔軟に利用いただける体制を取ってきました。現在厚木市では、その方向性を積極的に進め、障がい者の方と高齢者の方のサービス提供の協働体制を構築しています。そこに「地域」というキーワードを加えた新しい体制です。そこで今こそ、みどりの丘がこれまでの18年間、戸室の地を発祥として皆様にお世話になりましたご恩をお返しするときに来たと感じています。私たちは今までの高齢者介護のサービス提供に加え、障がい者相談支援事業と障がい者就労支援A型事業所のレストラン「モン・レーヴ」を開設しました。高齢者、障がいを持つ方が安心して暮らせる地域のお手伝いのため、ぜひ皆様にその活動を知っていただき、地域のお役に立ちたいと思っています。

※モン・レーヴについては最終頁にて改めてご案内しております。



# 《これからの「みどりの丘」》

取締役 本部長 平野 祐司



本年4月1日より、みどりの丘にお世話になります平野祐司と申します。私は大学卒業以来、日本オリンピック委員会（JOC）をはじめとする団体の職員とし、通算34年に渡りスポーツ界に勤務いたしました。これまで福祉の世界は全く経験がなく、一からのスタートとなりますが、皆さまのご指導とご協力をいただき微力ながら、みどりの丘の一員として力を発揮できるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、日本は世界一の長寿国となり、超高齢化社会を迎えております。厚生労働省が2000年に制定した介護保険法も度々の改定を経て、ますます複雑になり、今後は福祉・介護の責任と主体が国から地方行政へと大きくシフトして行くものと思われます。また、団塊の世代が後期高齢者に突入する2025年問題も10年後に迫っております。まさに福祉の社会も大きな変化の時期を迎えていると言えるでしょう。

私の所属したスポーツの世界。特に団体ボールゲームでは、選手がお互いのコミュニケーションを良好にして、個々の力を鍛え、チーム力を高めることにより、小さなチームでも勝ち抜くことができると言われております。そのためには各選手が同じ目標を共有し、高いモチベーションを保ち切磋琢磨することが必要です。このことはスポーツだけでなく、どの業界でも同じ原理です。私たち「みどりの丘」は大企業・大資本で全国展開フランチャイズを目指す組織ではありません。むしろ厚木と言う地域にしっかり根ざして、小さくとも質の高いプログラム提供のできる優良な事業所を目標にしたいと思います。

みどりの丘では、昨年10月から今年4月のスタートを目指し、「みどりの丘中長期計画」の策定を急いでいます。その計画の根幹をなす主旨は、下記のとおりとなっています。

- ①入居者の皆さんが快適に過ごせる環境と業界最高のサービスとプログラムを提供できる改革を実施する。
- ②職員が誇りを持って働ける環境づくりと職員資質を向上させ、業界最高位の給与体系を実現する。
- ③入居者のご家族にもご満足いただける環境整備と情報提供を行う。
- ④厚木市を中心とした地域に根差し、地域と深い連携をもち、多年代にわたる事業展開をする組織となる。

是非、その目標実現のため強固なスクラムを組もうではありませんか。



元旦の挨拶

# 《夢の施設 ～今がチャンス！実行あるのみ!!～》

執行部 部長 村山 昭夫



日々の変化は今、私たちにとって時代の流れに逆行しているかのようなスピードでかけめぐっております。周りを見渡すと各高齢者を受け入れる介護施設の乱立。2025年を迎えての商業的思惑からか、めまぐるしい建築ラッシュは驚くものがあります。これを利用しようとする高齢者にとっては内容の把握をさらに要求される現状となり、この利用に戸惑いを感じさせます。私は、昨年の11月28日、みどりの丘総会にて執行部部長として紹介されました。非常に光栄と感じ、又、非常に震えを感じました。それは今のみどりの丘の規模と国費を使用しての経営を担っていかなければならない怖さです。

現状のみどりの丘の施設は9施設、15事業所、約200名の職員にて構成されています。年間7億の実績。その職員と家族、約500～600名を、ともに生活共同体として維持し運営していかなければならない大きさはやはり怖いものがあります。

## 私が今やらなければいけないこと

### ①快適に過ごせる環境

そこに従事する責任者・管理者が、利用者様に対し快適に過ごせる環境とより良いサービスを行い、大きな満足を提供できる資質を身に着けることです。常に施設の美観を気かけ、整理整頓を常に行う技術、そして多種多様の行事計画は実施者の独自性・積極性が顕著に現れ、これを見るものが一目でその施設の技量として評価されます。

### ②研修制度を充実

職員が誇りを持って働ける環境を作り、職員資質を向上させることです。働ける環境づくりとしては、研修制度を充実させ、しつけ・礼儀作法・その他もてなしの技術を身に付けてこそこれが達成させられます。

### ③地域との連帯及び多世代交流の活発化

地域に根差し、地域と深い連携を持ち多世代交流を活発化することは、地域に根差した施設として永続的な運営が認められ、地域住民もまた係わり深くこれを盛り上げて活性化する循環が出来上がります。

2015年4月の介護保険制度改正で更なる変革を確実に行うことが必要になります。これを危機とは受け止めず「チャンス」として実行することが、この地域に築き上げた「みどりの丘」をゆるぎないものと確信します。



施設行事「寿司食いね」



プロアーティストを招いて地域交流



春日山部屋を招いて地域交流



学童保育「たいよう学園」にて地域交流



## 《障がい者と健常者の関わりかたに自立した考えと》

執行部 部長 立石 太郎



2013年4月より施行された「障がい者総合支援法」は障がい者、健常者などと線を引くことなく共に日常生活を送る為の法律と言えるでしょう。世の中の偏見や人間の本質的なエゴから健常者、障がい者双方からもそれは感じられています。

健常者からの障がい者への見方は「あの人は障害があるから・・・」「障がい者には、無理・・・」などと勝手な思い込みでやり過ぎている事がほとんどの方にあると思います。

一方、先日お会いしたある障がい者は「障がい者を区別してほしくない」という発言や反対に「私には、障がいがあり仕事が1人前にできないのは仕方がない。」という甘えた感覚の発言もありました。そんな双方の思いの違いが、時に摩擦を生み人間関係をぎくしゃくさせてしまうのだと感じました。これから健常者は障がい者を、障がい者は健常者を特別視せず、また、お互いに遠慮はせず、お互いに「心遣い」を忘れないことが大切だと思います。日常生活の中で意識せず過ごせる日が、当たり前のように来る事を願っています。そんな中で、新しく戸室3丁目にレストラン「モン・レーヴ（わたしの夢）」がオープンいたしました。

ここに併設されているのが「就労継続支援A型」という事業所です。就労される方は働く事を目的としていても、障がい理由で一般就労が出来ない方を対象としています。

時に塞がりがちになる心を解放できる「皆の居場所」でもあり、再度就職する為に相談にのれる相談支援事業所も併設しています。また次のステップに繋ぐことも事業所としての使命でもあります。障がいがある方、無い方に係らず互いにコミュニケーションを取ることが大切と考えます。

私たちの仕事に於いても法律が定期的に変わり、絶えずそれを理解するのに努力をしなければなりません。この法律を契機に、日本も欧米並みに「ヒューマンコミュニケーション」のスキルを高くもち「人と成り」が大きくなれるように一生懸命に責任を果たします。



「モン・レーヴ」外観



小規模多機能 利用者による菜園



施設行事「寿司食いね」



毎年恒例の初詣（妻田薬師）

## 《地域に根差した施設を目指して》

執行部 部長 渡辺 貴志



株式会社ミューの中で『地域密着型サービス』を担当する事となり自分自身、どの様に地域と係わりが持てるだろうかと考えました。現在、作成している『みどりの丘 中長期計画』の根幹の中にも「厚木市を中心とした地域に根差し、地域と深い連携をもち、多年代にわたる事業を展開する組織」と主旨があり、私が担う責任の重さを感じています。

『地域密着型サービス』の概念である住み慣れた自宅や地域で暮らすために必要な「安心した住まい」や「様々な生活支援」を提供するサービスと2015年の改定でもキーワードとなっている『地域包括ケアシステム』の概念である全てを一体的に提供でき、家族を支援しつつ本人の意向と生活実態に合わせたサービスを提供する事業所こそが、現代に必要なとされている最良の地域密着型サービス事業所と考えています。

現在、株式会社ミューでは地域密着型サービス事業所としてグループホームを2事業・小規模多機能型居宅介護事業所を1事業・認知症対応型デイサービスを1事業運営しております。

それぞれの事業所では利用者・家族・地域のニーズに対して介護職員が一丸となって真摯に取り組んでいく過程そのものが、自然と職員一人ひとりを成長させサービスの質の向上にも繋がっているのではないかと感じています。そして職員の対応1つ1つが家族との協働や信頼関係を生み、地域においては事業所の理解や協力関係が培われていく事を実感しました。

株式会社ミュー全体を考えた場合も同じでないかと思います。全事業所が一丸となって取り組むことで成長となり、質の高いサービスを提供した結果が評価され地域と株式会社ミューを繋げる原動力となると考えています。



子供神輿が施設訪問（地域交流）

日々の業務の中で職員の不安な気持ちは、そのまま利用者やご家族に態度や表情で伝わります。職員が安心感をもって業務出来る施設を目指すためにも、私は執行部として誰よりも知識と情報を培う事が必然と感じています。また、自分自身が介護現場と距離を置くのではなく、直接 職員や利用者とのコミュニケーションを図る事、地域行事に積極的に参加をする事で、現在の必要なニーズを把握していきたいと考えています。

そして何より日々協力してくれる職員と地域の方々へ感謝の気持ちを常に心におきながら、株式会社ミューを地域の福祉コミュニティーの中心と感じて頂き、地域に根付いた施設に成長させていきたいと考えております。



## 《新しい風》

執行部 部長 幸田 裕介



現在、厚木市には50ヶ所を超える在宅介護の代表格「デイサービス」が存在し日々競争を繰り広げています。更に2015年度の介護報酬引き下げが追い打ちとなり全国の介護保険事業所を取り巻く環境は大変厳しくなると予想されます。私たちが「厚木」で生き残るためには最高のデイサービスをつくりあげ、利用者様・ご家族様に喜んで頂くことが必然と考えます。

プログラム特化型の「シンフーディーファン そら・うみ」をはじめ学習特化型プログラムを取り入れた「シンフーディーファン たいよう」及び社会生活参加型の「デイサービス みいよ」と形態の異なる多種多様のプログラムやサービスを提供する背景には、利用者様の「これまでの経験」や「これから目指す自分」をより感じて頂きながら、自身に合ったプログラムを選択することにより今まで通りの社会生活をおくってほしいという思いがあります。

軽度の認知症の方、重度の認知症の方、身体的な不自由をお持ちの方、現在の状態を維持したい方、さらなる向上を目指す方、それぞれの思いをお持ちの方々が私たちの「デイサービス」に通って頂くことにより「家庭（社会）での生活をより楽しんでもらう」ことを目標にして頂きたいと考えます。更に個々の利用者が持つ「潜在能力」に刺激を与えることに重点を置き、これまでの「かゆいところに手が届くサービス」から「かゆいところに手が届く＋ご自身で出来ることは応援をするサービス」を提供していきたいと考えております。

「出る釘は打たれる、出過ぎた釘は打たれない」という言葉があるように、他の事業所に真似が出来ない様な個人個人を大切に作るプログラムを実現することで「みどりの丘」を盛り上げていきます。その為には、携わるすべてのスタッフの「ベクトル（志向性・方向性）」を合わせる事又、個々の利用者の状況をより理解する事が必然となります。スタッフ一丸となり新しい風を「みどりの丘のデイサービス」に吹かせる事を実現させますので、今後ともよろしくお願いいたします。

※「シンフーディーファン」とは中国語で「幸せな（居心地の良い）場所」という意味です。



みどり保育園との交流会

## 「わたしの夢」

取締役 施設長 山崎 乃湊子

「貴方の夢はなんですか？」・・・小さいころはたくさん聞かれた質問ですが、大人になるにつれてあまり聞かれることがなくなった言葉です。でも、人はいくつになっても夢を持って生きていたいと思い続けてきました。私にとって「夢」は身近な目標でなく、「夢に描くようなこと」です。子どものようですが、思い描いていればいつかは夢の方から私に近寄ってきてくれると信じています。小さいころからそう思い込んでいましたし、今でもそう信じて生きています。



「モン・レーヴ」館内

そしてこの春の訪れは、私に「夢」を運んでくれました。レストラン「モン・レーヴ」のオープンです。

小さいころ、おばあちゃん子だった私は、いつも料理の上手な祖母のつくるご飯をたくさん食べて育ちました。普通のご飯ですが、私にとってどこかが違う特別のご飯でした。我が家には祖母の作るご飯を食べに、父の友人や様々な人たちがいつも集まってきました。ご飯を食べながら、うれしい出来事、そうでないこと、たくさんの会話がつつくのを傍で聞いていました。

いま、考えると、我が家に来る人にとって祖母の存在は大きく、同時に自分の居場所としての空間がそこにあったのだと思いました。

そんな祖母の最後を病院で見送った後悔から、いつか祖母の名前を付けた看取りのできる施設を作りたいと始めたこの仕事も「オーババーズセキ」の施設の開設で実現できました。そして今回のレストランの開設は、みんなが集まって幸せな気持ちになれる場所を作りたいと思う気持ちから描いた夢でした。特別なご馳走ではないけれど、ご飯を食べながらなんとなくホッとする場所、「また、来たい」と思える居心地の良い場所を作ることです。

モン・レーヴとはフランス語で「わたしの夢」という意味です。人は幸せな気持ちでなければ、夢を語ることはできないと思います。モン・レーヴに来る人たちが、みんなで「夢」を語れる場所になれるように、毎日ご飯を作り続けることが今のわたしの日常です。

まだまだ、祖母のご飯には近づきませんが、夢をかなえてくれた私の家族や友人に感謝しながら、一生懸命頑張りたいと思います。モン・レーヴが「わたしの夢」から「みんなの夢」に育っていくことを目標にして・・・

## 《世相》

2014年11月  
安倍首相が中国の習近平国家主席と北京で首脳会談  
安倍首相が衆議院解散と消費税10%引き上げ延期を発表  
「和紙 日本の手漉き和紙技術」が無形文化遺産に決定

2014年12月  
第47回衆議院議員総選挙  
第3次安倍晋三内閣発足  
マクドナルドが商品に異物が混入していたことを公表

2015年1月  
阪神淡路大震災から20年  
イスラム国が日本人2名を人質にとり殺害  
国内航空3位のスカイマークが民事再生法の適用を申請

2015年2月  
パリの新聞社に武装グループが侵入し銃を乱射 編集長ら12人死亡4人重軽傷  
川崎市の多摩川河川敷で中学一年生の遺体が発見され、知り合いの少年3人を逮捕  
イギリス王室のウィリアム王子が初訪日

2015年3月  
プロテニスプレーヤーの錦織圭選手が世界ランキング4位に日本人男子最高記録更新  
サッカー日本代表の監督に、パヒド・ハルホルム・ジョグチ(62)が就任  
東日本大震災から4年  
北陸新幹線開業



## 《編集後記》 事務長 磯野 啓治

凍てついた長い冬からやっと春の息吹が感じられる季節になりました。

今回の山茶花では、介護保険の改定に伴い当社（みどりの丘事業所）は地域との繋がりをより密接にし、利用者には更に住み良い環境づくりと職員の安定・スキルアップ等々の改善の実現を図るための執行部体制を作り、各部長がこれを担うことになります。

そこで43号山茶花は、数年先を目標に置いた社長・施設長及び本部長・各部長の抱負を述べて頂きました。

特に各部長職にある方には、みどりの丘の理念を核とし、信念が抱負のみに留まることなく、一時も早く実現化されることを期待いたします。

ご多忙のところ寄稿を頂き誠にありがとうございました。

お気づきでしょうか？今回から編集委員として渡辺貴志さんが加わりました。PCに精通した腕を活かし、紙面作りを担ってもらいました。

山茶花編集委員を紹介します。大聖寺吉美、岩野昌子、渡辺貴志、磯野啓治の4名で行います。

今年も宜しくお願いいたします。